おめでとうございます

令和２年度ボランティア活動功労者表彰を受賞されました

令和２年度ボランティア活動功労者表彰を受賞した点訳の「ありんこ」の皆さん

日の出小学校での福祉実践教室の様子

９月２日、愛知県庁にて「令和２年度ボランティア活動功労者表彰式」が行われ、市からは点訳の「ありんこ」の皆さんが受賞されました。

これは、公共福祉の向上のため、活動を10年以上にわたって活動しているボランティア団体に贈られるものです。点訳の「ありんこ」の皆さんは、昭和61年10月より長年にわたり視覚に障がいのある方に寄り添った支援を行っています。また、市内小中学校に出向き福祉実践教室で生徒たちに点訳活動の必要性などを伝えています。

ちょっと一息 “防災”

防災クイズに挑戦してみませんか？

問題 どうして崖くずれが、おこるのでしょうか

❶ 水が土をもちあげるから

❷ 樹木がすくないから

❸ ふもとに団地ができたから

答えはP18の下をご覧ください。

答え ① 大雨が降ると地下に水がたくさんしみこみ、水を通しにくい粘土層の上に水がたまり、その水の力にもち上げられて、粘土層をさかいにした の地面がゆっくりと動き出します。

『人権啓発講演会』の開催

▼**と　き**　12月6日(日)
第1部【表彰式】午後1時～
共同募金作品･福祉体験作文コンクール表彰
第2部【講演会】午後2時～
講師　矢野きよ実氏
『誰も一人では生きられない』

▼**ところ**
総合社会教育センター　中央公民館ホール

▼**対象者**　市内在住の方

▼**定　員**　100名

▼**整理券配布**
11月22日(日)午前9時から正午まで総合社会教育センターで配布します。1人2枚まで。整理券に余りがある場合、11月24日(火)から総合福祉センター内市社会福祉協議会で配布します。無くなり次第終了。

問 市役所福祉課(内線164、165)　市社会福祉協議会 ☎65－8105

講師：矢野 きよ実 氏

やとみ 歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。

明治天皇焼田港御着船所跡

明治元年に明治天皇が初めて京都から東京へ行幸した時、桑名から尾張藩の船「白鳥丸」で佐屋川を上り、佐屋港(現愛西市)に向かうことになりました。

しかし佐屋川は土砂が溜まり浅くなっていて、近隣の人々が数千人がかりで川ざらえをしましたが、白鳥丸は佐屋川を上ることができませんでした。

そこで、一行は急きょ五之三の焼田港に上陸し、そこから陸路で佐屋へ向かいました。そのため、焼田港は明治天皇が尾張へ初めて上陸した場所になりました。

明治５年には桑名と前ケ須の「ふたつやの渡し」を結ぶ新しい東海道が整備され、佐屋港に代わって前ケ須が栄えるようになりました。

明治100年にあたる昭和42年に、地元の有志により焼田港の跡地に「明治天皇焼田港御着船所跡」の記念碑が建立されました。